科目名	監査の結論及び報告【ゼミナール】								
分類コード	監査 205	学年	J2	時期	前期	必修	－	単位	3
講義形態	ライブ講義								

受講の前提及び事前準備

・ゼミナールでは、講義科目に準拠し、テキスト・資料から分析等を行い、議論や発表を行う。
・監査 205「監査の結論及び報告」の講義を受講し、その基礎的内容について十分に理解しておくことが望ましい。
・特に、**監査基準報告書（以下、「監基報」という。）570「継続企業」、監査・保証実務委員会報告第 74 号「継続企業の前提に関する開示について」について通読したうえで内容を理解**し、説明できるようになっておく。

講義内容（指導目的）

ゼミナールでは、議論や発表を行うにあたり、テキスト・資料に基づきチームでの分析等を行うが、実務補習生が相手の考えを理解した上で自らの知識や経験を再構築し、分かりやすく伝えるアウトプット能力を向上させることを目的とする。

1. 監査 205「監査の結論及び報告」の講義において習得した基礎的な専門知識や自らの実務経験に基づくスキルを活用して、アウトプット能力の向上を図る。**≪監査≫**
2. 設例の財務状況や事業計画、経営者の反応などをもとに、監基報 570「継続企業」、監査・保証実務委員会報告第 74 号「継続企業の前提に関する開示について」に基づいた検討を行い、注記の有無によってリスクがどのように変わるか、経営者へどのように説明するかといった実務上問題となりやすいテーマについてチームメンバーで議論する。**≪監査≫**
3. 以下のようなプロセスをもってゼミナールを進める。
   ・チームにおける役割分担及び時間配分を決定する
   ・ゼミナールの出題テーマをよく理解し、チーム内で深堀して論点分析等を行う
   ・自分の知識や経験に基づく意見を述べるとともに、同じチーム内の他の補習生の意見・考えを理解しながら議論を続ける
   ・発表事項を取り纏める
   ・他のチームに対して発表を行う
   ・他のチームの発表を聞き、自ら若しくはチームとしての意見を述べる
4. 監査 205「監査の結論及び報告」のゼミナールを通じて、チーム内若しくは他チームの相手の立場や考え方を理解し、様々な角度から物事を考えることのできる柔軟な思考の土台となる幅広い専門知識、教養等を学ぶ。**≪監査≫**
5. 監査 205「監査の結論及び報告」のうち、継続企業に係る基礎的知識への理解を更に深め、実務上の対応のポイントを理解する。**≪監査≫**

キーワード

継続企業の前提、重要な不確実性、マイナスの営業キャッシュ・フロー、借入金の返済条項の不履行又は履行の困難性、資金計画

到達目標

ゼミナールにおいては、議論や発表を行うにあたり、テキスト・資料に基づきチームでの分析等を実施し、実務補習生が相手の考えを理解した上で自らの知識や経験を再構築し、分かりやすく伝えるアウトプット能力が向上することを到達目標とする。

1. 各科目の講義において習得した基礎的な専門知識や自らの実務経験に基づくスキルを活用して、アウトプット能力が向上する。
2. チーム内若しくは他チームの相手の立場や考え方を理解し、様々な角度から物事を考えることのできる柔軟な思考の土台となる幅広い専門知識、教養等が身につく。
3. 監査 205「監査の結論及び報告」のうち、継続企業に係る基礎知識への理解を更に深める。特に、監基報 570「継続企業」、監査・保証実務委員会報告第 74 号「継続企業の前提に関する開示について」に基づいた検討を行い、注記の要否について判断し、判断の根拠や考えられるリスクを説明することができる。

参考文献

監査 205「監査の結論及び報告」の講義教材